

南日本経済賞 贈賞式

主催 南日本新聞社



南日本経済賞 3団体を表彰

農業の新価値創造

第11回南日本経済賞
(南日本新聞社主催)
の贈賞式が10日、鹿児

島市の南日本新聞会館
であった。さかうえ志
布志市)、下堂園(鹿
児島市)、マトヤ技研
工業(曾於市)に賞状
と副賞が贈られた。

さかうえは、IT(情
報技術)を活用した
農産物生産管理の独
自システムを開発し、
効率化を支援する。耕
作放棄地利用や就農
者育成にも力を入れ

る。坂上隆社長(47)は
「新しい農業価値の
創造を掲げてきた。今
後も若手と一緒に成
長したい」と抱負を述
べた。

南日本経済賞を受賞し
た(左から)さかうえ、
下堂園、マトヤ技研工
業の代表者ら10日、
鹿児島市の南日本新聞
会館

下堂園は、1990
年代から欧州に茶葉を
輸出し市場を開拓。新
商品開発などを通じて
鹿児島茶と地域の魅力
を発信し、ブランド化
を図る。下堂園豊社長

の省力化機器などを
開発。輸出にも力を入
れる。地元雇用にも積
極的。益留福一社長
(67)は「地場産業の畜
産・食肉関連の開発
を続け、人手不足解消
に協力したい」と語っ
た。

マトヤ技研工業は、
鹿児島島の畜産業界の
ニーズに応え食肉処理

式では、委員長の
宮廻甫允(みやまほりゆき)鹿児島大学名
誉教授が、選考過程を
報告。南日本新聞社の
逆瀬川尚文社長が「独
自の発想による先進的
な取り組みは、鹿児島
の農畜産業の可能性を
広げていく力になる」
とあいさつした。
(小手川美子)